

全国英語教育研究団体連合会
(東京都立田柄高等学校)
会 長 栃 倉 和 則

◇第 56 回全国高等学校生徒英作文コンテスト◇

全英連は、高校生の英語力の向上をはかり、英語による発表能力を高めるために、昭和 37 年から文部科学省その他関係方面からの後援を得て、全国高等学校生徒の英作文コンテストを実施してまいりました。高校生にとって自分の考えを英語で発表することは決してやさしいことではありませんが、全国各高校の先生方をはじめ、各方面のご協力で、このコンテストは年々成果を上げてまいりました。

今年のコンテストは、次の要項によって行います。先生方にはこの企画の趣旨にご賛同いただき、ますます多数の生徒がこれに応募するようご指導賜りたくお願いいたします。

◇実施要項◇

- ① 目 的 高等学校生徒の英語学力の向上をはかり、英語による発表能力を高める。
- ② 応募規定
- a. 資 格 日本国内の国公立高等学校および高等専門学校（1～3 学年）などの学校に在学する生徒。
- b. 題 1 年 A Lesson from a Mistake I Made (両タイトル共に題を変えたら失格)
2 年・3 年 The Importance of Diversity
- c. 制限語数 1 年は 251 語～500 語、2 年・3 年は 301 語～600 語。(語数オーバー・不足は失格とします。)
- d. 用 紙 A 4 判の上質紙。(用紙のサイズ厳守) 2 枚以上の場合は左上を止める。
- e. 作 品 自作未発表のものに限ります。本文はワープロ（黒）、パソコン（黒）、またはペン（自筆で黒インク）で書き、一番上に題を明記し、最後に必ず語数を書き入れる。(句読点は語数に入れない)
本文の右肩に日本語で在学学校名（国・公・私立を記入）、
(学校所在地の) 郵便番号・学校所在地・学年・氏名・
年齢・性別を三段に書き、ローマ字または英語で氏名・
学校名を二段あるいは三段にして書きそえ在学学校を経由して提出してください。
《先生方にお願ひ》
全英連 HP から応募用紙をダウンロードし、作品と共に下記あてにお送りください。応募作品は返却いたしません。又、校内予選をされた場合は、参加作品の学年別総数を必ずお知らせください。なお、1 校あたりの応募作品数は、各タイトルにつきそれぞれ最大 10 編に限らせて戴きます。作品郵送の際は責任者の先生のお名前を必ず明記してください。
- f. 送 り 先 〒192-8562 東京都八王子市明神町 4-20-1 東京都立南多摩中等教育学校 全英連事業部
FAX 連絡のみ (042) 642-2195
- g. 締 切 平成 29 年 9 月 11 日（月曜日）必着
- h. 版 権 主催者に帰属する。
- ③ 審 査
- a. 審 査 員 専修大学教授 上村妙子／慶應義塾大学・明海大学名誉教授 小池生夫／(株)サイマル・インターナショナル顧問 小松達也／玉川大学准教授 工藤洋路／東京国際大学教授 成田真澄／元東京女子大学・日米会話学院講師 Kenneth Y. Sagawa／明海大学名誉教授 和田稔／大妻女子大学教授 Timothy J. Wright／全英連会長 栃倉和則
- b. 審査方法 応募作品から、1 年の部、2 年・3 年の部各約 120 編を選んで入選とする。入選作品からさらに各 16 編を選んで入賞とする。
- ④ 発 表 入賞・入選者は、平成 29 年 11 月の第 67 回全英連大会および平成 30 年 3 月発行の第 67 回全英連大会紀要において発表する。また入賞者は平成 29 年 12 月中旬に週刊 S T に発表する。
入賞・入選は次のとおりである。ただし表彰式は行わない。賞状発送は 12 月初旬に行う。
- 個人賞 { 最優秀賞 各 1 名 個人に文部科学大臣賞・副賞（ノートパソコンなど）
優秀賞 各 5 名 個人に賞状・副賞
優良賞 各 10 名 個人に賞状・副賞
入 選 各約 100 名 個人に賞状・副賞
- 学 校 賞 若干校（応募者数、入賞・入選者数、過去の受賞を考慮する）
- ⑤ 事業発表 平成 29 年旺文社発行の「螢雪時代」（8 月号）
主 催 全国英語教育研究団体連合会（全英連）
後 援 文部科学省・日本英語検定協会
協 賛 旺文社・ジャパントイズ